

1. はじめに

金沢工業大学（以下、KIT）の派遣留学生として9月からローズハルマン工科大学（以下、RHIT）に留学中である。8月23日に入寮し、9月3日から授業が開始した。RHITに到着してすでに1か月、授業も第4週目までが終了した。課題なども通常の在學生と同じように課されるので非常に忙しい生活を送っている。今までに経験したことのないソイレベルな英語を要求される環境であるため、戸惑うことは多くあるが、それに対応するために成長しようとする自分がいることに驚きと喜びを感じている。そして、この環境で成長する機会が与えられたことに感謝している。

2. 生活

2.1. 大学の様子

RHITは、1874年にChauncey Rose氏によってRose Polytechnic Instituteとして創立され、現在はインディアナ州テレホートに位置している。また、RHITはテレホートの中心街から少し離れたところにあり、キャンパス内および周辺は自然にあふれている。勉学に集中するには非常に適した環境であると感じる。



図1 キャンパス内の様子

2.2. 私生活

私の寮は、Lakeside Hallという学生寮で2012年に完成した最も新しい学生寮である。この寮に住む多くの学生は、3年生以上の上級学生である。なお、この部屋はアパートメントタイプと呼ばれるタイプで、4人で一つのリビングスペース、バスルームとキッチンシェアする。部屋の中には、寝室が2つありそれぞれ2人で共有している。私のフラットメイトは、3人ともアメリカ人で機械工学を専攻する4年生である。そのうちの一人が私のルームメイトでベッドルームを共有する。

2.3. 授業の履修

RHITの授業は、50分を1限として1日あたり10限までである。8時05分から1限目が開始し、17時10分に10限が終了する。各授業間には5分間の休憩時間がある。昼休みは存在せず、学生自身の都合のよい時間に各自で昼食を取る。

今学期は、3科目12単位に相当する授業を履修中である。時間割表を以下に示し、各科目の詳細

細をまとめる。

COURSE	CRN	DESCRIPTION	INSTRUCTOR	CREDIT	ENRL	CAP	TERM SCHEDULE	COMMENTS	FINAL SCHEDULE
CLSK121-05	1683	College English	iba	4	10	12	MF/7/CL119;W/7-8/CL119;R/10/GM		
ECE250-01	1077	Electronic Device Modeling	hermler	4	13	30	MTF/2/C115;R/1-3/B200		
ECE351-01	1078	Analog Electronics	hermler	4	15	30	MTR/6/B105;W/4-6/B200		

TERM GRID	1 8:05	2 9:00	3 9:55	4 10:50	5 11:45	6 12:40	7 1:35	8 2:30	9 3:25	10 4:20
MONDAY		ECE250-01 in C115				ECE351-01 in B105	CLSK121-05 in CL119			
TUESDAY		ECE250-01 in C115				ECE351-01 in B105				
WEDNESDAY				ECE351-01 in B200	ECE351-01 in B200	ECE351-01 in B200	CLSK121-05 in CL119	CLSK121-05 in CL119		
THURSDAY	ECE250-01 in B200	ECE250-01 in B200	ECE250-01 in B200			ECE351-01 in B105				CLSK121-05 in GM
FRIDAY		ECE250-01 in C115					CLSK121-05 in CL119			
SATURDAY										

図1 時間割表

2.3.1. ECE250 Electronic Device Modeling (4 単位)

本科目は、半導体電子素子に焦点を当てた授業である。2 年生向けの授業ということで、ダイオードや接合型トランジスタ、MOSFET などの特性や機能について学習する。この科目は、週に 1 回実験がある。今までの実験の内容としては、ダイオードやツェナーダイオードの電流電圧特性、整流回路あるいはクリッピング回路の電圧波形等を計測した。課題が毎週あるが、今までに学習してきた内容が多く比較的簡単である。

2.3.2. ECE351 Analog Electronics

前出の ECE250 の上位クラスである。ECE250 同様に半導体電子素子を中心に学んでいる。このクラスでは、さらに発展したトランジスタを用いた電流源回路や増幅回路の設計を行う。設計の方法を教授が講義で説明するが、英語のスピードが速かったり、専門用語(電気電子・数学)が頻出するので毎日四苦八苦している。本科目も同様に、毎週実験と課題がある。実験については、ECE250 と比較して回路が複雑だが何とか対処している。こちらの課題は、1 問 1 問の難易度が高く、相当な時間をかけて課題に取り組んでいるがかなり苦戦をしている。

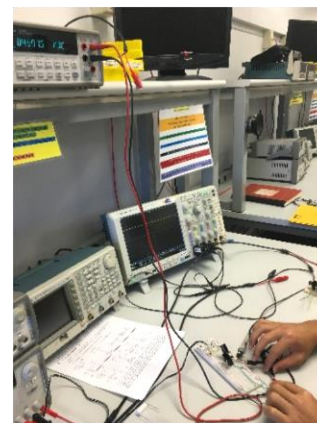


図3 実験の様子

2.3.3. CLSK121 College English

この科目は、第二言語としての英語話者のための授業(ESL: English as a Second Language)である。授業の内容は、リスニング、ライティング、リーディングとスピーキングのすべてのスキルを均等に学習する。課題については、非常に多く、今学期に履修している科目の中で最も課題の量が多い。しかし、全く理解できないという状態に陥ることが少ないのでそれほど苦戦はしていない。

2.4. 自由時間

自由時間の多くは、課題に取り組んでいる。それ以外については、私と同様に交換留学で RHIT に在学しているドイツ人や中国人の学生、仲の良い一般の学生と映画を見たり、スポーツをしたりしている。

3. 研究

日米の技術者教育の比較 ～理工系学生の海外留学の難易度と課題および改善の提言～

3.1. 調査と考察

現段階においては、私個人の授業の履修を通しての見解しか得られていない。先に述べたように、一部の科目については内容が重複し、交換留学生として滞在する分には大きなバリアはほとんどないように感じる。しかし、何か新しいことを学ぶには非常に大きな壁あるように感じる。具体的には、用語の違いや新たな概念を母語以外で理解することなどがある。ただし、工学は数式を多用するため逆に英語が完璧に理解できなくても、数式で補うことが出来る。そのため、講義の話の中で理解できなくても、板書や数式によって講義の内容が理解できることも少なくな

3.2. 学習・研究時間

第1週：45時間

第2週：40時間

第3週：52時間

第4週：43時間

※授業時間を除く

3.3. 今後の展望

今後は、より客観的な比較を行うために今夏に来日していた RHIT の交換留学生にインタビューを実施してみようと思う。また、幸運にも RHIT で日本語を教えている広谷先生の計らいで、日本語の授業に時々参加している。この機会を活かして、現在日本語を学習中の学生を対象に日本への留学の意思（交換留学プログラム含む）や日本語を学習する理由について聞いてみようと思う。

4. おわりに

非常に忙しい生活を送っている。友達とすれ違ったときに、「調子どう？ (How's it going?)」と聞くと、私も含めて全員が「すごく忙しい、いつも通り。(So busy, as usual.)」と答える。忙しいのと同時に、とても充実した生活を送っているように感じる。毎日が忙しく大変であるからこそ、こまめに課題をこなしたり、逆にリフレッシュする時間の大切さが見えてきたように思う。そのためにも、時間の使い方を考えて、上手に時間を使えるようになりたいと思う。

以上で9月分の月例報告を終了する。